

#### 4、ガーラ(ロウニンアジ・GT)に至近距離まで接近して突く方法

ロウニンアジ(以下ガーラ)は基本的に好奇心旺盛で脅かさなければ、昼間でも近くまで寄って来る事があります。ですが今回は夜の電灯潜りで近くまで寄せる方法を教えます。



まず、いつも通り魚を探して突いていて下さい。そして突いた魚をいゆぬチャー(フィッシュストリンガー)に通して、またいつも通り魚を探し突いていきます。

この時大事ななのは、必ず魚がむき出しになっているようなフィッシュストリンガーを使用して、尚且つロープで腰に繋いでおく事です。発泡スチロールに入れてはダメです。

そうすると近くにガーラがいてお腹が空いている場合、周りをぐるぐる回るようにウロチョロします。

この時がチャンスになります。腰に繋いだロープが3mなら水深3m程度の場所に行き、ガーラが追ってくる事を確認します。ちゃんと追ってきている事が確認出来たら、一旦止まって、ゆっくり深呼吸し、長く潜水する準備をして下さい。

次に思いっきり息を吸って、真下に潜ります。

そうすると、腰に繋げたロープが引っ張られ、離れていたフィッシュストリンガーが自分の真上に来るような形になります。この時、ガーラも一緒に自分の真上に付いてきますので、自分の身体が、直ぐに浮いて浮上しないように岩等を掴んでおいて下さい。そしてライトは水底に横に置いた状態で、周りのわずかな光でガーラが自分の真上に来るのを確認して目を暗闇にならして下さい。ガーラが真上に接近しているのが確認出来たら、そのライトは水底に置いたまま、ゆっくり浮上します。ガーラは水底に置かれたライトの光しか気にしていませんので、浮上してくるこちらには気付きません。ですから、至近距離からモリを放つ事が出来ます。但し、完全に水面に浮上しきってしまうと気づかれますので、浮上から水面にでるまでの間がチャンスになります。後、浮上中に息を吐かないで下さい。

この方法では、ガーラにモリを当てた後からが勝負になります。10キロサイズを越えてくると、かなり凄いパワーで暴れますので、その状況でモリを手放さず、上手くとどめをさせるかが重要になって来ます。因みに、私も1度20キロを越えるようなガーラに至近距離から当てた事がありますが、一瞬でそのままモリごと持っていかれてしまいました。そうなってしまうと、なすすべがありませんのでご注意ください。

